



# 学校だより

狛江で育ち狛江一中で学んだことを  
生涯の誇りにできる生徒の育成  
7月号 令和3年7月1日

## 狛江市立 狛江第一中学校

狛江市和泉本町 2-15-1  
TEL 03 (3480) 0121

### 成長

校長 吉田 知弘

6月5日(土)に開催した体育祭では生徒一人一人が全力で頑張る姿、その勇姿をたくさんの保護者の方々にお見せすることができました。本来であればご来賓並びに地域の皆様にも生徒たちの成長した姿をご覧いただきたいところでしたが、今回はコロナ禍の影響により、参観は保護者の皆様のみ、各ご家庭2名までというご協力をいただき、開催いたしました。もうひと月近くが経ってしまいましたが、緊急事態宣言下での開催にも関わらず、様々な面でご理解、ご協力いただいた皆様方に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

当日は、生徒代表のあいさつや多くの生徒の事後の感想にもあった通り、「競技などが縮小されたことは残念だけれど、体育祭を実施できた喜び」をみんなが全身、全力で表現してくれていました。生徒一人一人が本番までの練習や準備に一生懸命取り組む姿、本番も競技や係活動などのすべての場面で全力を尽くす姿、そして仲間へ熱い声援を送る姿など、みんなが仲間とともに一つのものを作り上げようとする前向きさ、目標に向かって頑張る姿を本当にたくさんの場面で見ることができました。こういった姿から、生徒たちがいかにこの行事を待ち望んでいたかということを感じるとともに、生徒一人一人が個人としても、また狛江一中という集団としても大きく成長してくれたことが実感でき、とても嬉しく思います。生徒たちも大きな行事を自分たちの力で成功させたという達成感を自分、そして自分たちへの自信にし、それをさらなる成長につなげていって欲しいと願っています。

先日、3年生の保健体育科授業を参観しました。この授業では「握力」「上体起こし」「反復横跳び」「立ち幅跳び」などの体力テストを実施していました。昨年度は実施できなかったテストなので「2年前の自分」からの成長の記録です。生徒たちは1回でも多く、1cmでも遠くへ、と真剣に計測に臨み、多くの生徒が体力面での自分の成長を実感することができていました。

昨年度の1学期は臨時休校や分散登校などがあり、なかなか通常の学校生活は過ごせませんでした。今年度もまだ多くの制約がありますが、生徒が毎日、元気に登校できる環境はとても嬉しいことです。こうした日々の生活では生徒の心身両面での成長を実感できる場面がたくさんあります。生徒自身にもそのことに気付かせ、それを次の成長、次の頑張りにつなげさせたいと思います。

新年度に入って3ヶ月が経ちました。少しずつ生まれてきた「慣れ」は「ダレ」という慢心ではなく、「余裕・ゆとり」という前向きな気持ちとして捉えることが大切です。残り3週間となった1学期とその後の夏休みを余裕をもって有意義に過ごし、新たな成長の一步を踏み出してくれることを期待しています。

## 体育祭

体育祭実行委員長 松尾 紗綾香

1週間前までの天気予報では当日は「雨」。直前まで本当に開催できるかが心配され、実際に前日準備はできませんでしたが、当日は良い天候に恵まれ、無事に開催することができました。昨年の合同体育発表会に続き、今年度もいつも通りの体育祭という形での開催とはなりませんでしたが、今できる限りの中で、生徒一人一人が全力で頑張っている姿を見ることができ、形は違いますが、体育祭を開催でき良かったと心から思います。この体育祭で学んだこと、感じたことを今後の生活に活かして行ってほしいと思っています。

最後に、保護者の皆様、この度はお忙しい中体育祭にお越しください、ありがとうございました。急な予定の変更もあり、また、感染対策や入場チケットなどにもご理解いただき、ご協力本当にありがとうございました。



## セーフティ教室

生活指導主任 前田 恭伸

6月14日（月）の5・6校時、セーフティ教室を実施しました。内容は、「個人情報公開やインターネット上のトラブルを防ぐためにNTTドコモ『スマホ・ケータイ安全教室』オンデマンド教材による映像学習」と「調布警察署少年係の方からのリモート（Teams）による『青少年犯罪の傾向や諸注意等の講演学習』」の2つです。

事後学習のアンケートから、「フィルタリング機能に関係なく怪しいサイトには気を付けたい。」「よくわからないことがあったら、自分で解決しようと無理をしないで親に相談する。」「だれとでも話すことのできる社会なので便利でもあり気を付けることも多いので、軽い気持ちで使用しないようにしようと思った。」などの感想がありました。犯罪に巻き込まれないための身の守り方を再確認しました。



## 栄養士による食育授業

養護教諭 菊地 幸子

6月28日（月）6校時、1学年及び1組の生徒を対象として、狛江市立中学校給食センターの栄養士、太田香様と武田絵美子様を講師にお招きし、食育の授業を実施しました。

狛江市立中学校給食センターでは、毎日約1,500食の給食を19名の調理員さんで作っています。献立作成のポイントは4つあり、①国の基準の栄養価、②行事食や旬の食材を使うこと、③国産の食材や地場野菜の使用、④様々な食材を食べることがあります。狛江市の特産物である「枝豆」などの地場野菜は、栄養士の方が直接、仕入れ農家を訪問して野菜の生育状況なども確認し、農家の方との情報交換をしながら、旬のものをおいしく食べられる取り組みをされています。

生徒のみなさんが毎年楽しみにしている「枝豆アイス」は、今年度は11月又は12月の給食で出される予定だとお話がありました。その他、スポーツや美容と栄養の関わり、給食をお手本としたバランスの取れた食生活が中学生にとって大切であることを学習しました。

